

第21回 生保内節全国大会

吹けや生保内東風
七日も八日も
吹けば空風
ノオ 稲みのる

吹けや生保内東風
秋吹くならば
黄金波打つ
ノオ 前田圃

生保内東風なら
ひがたの風よ
そよりそよりと
ノオ 湯のかおり

9月22・23日の両日、この地で唄い継がれてきた生保内節を全国の民謡を愛する人たちと共に、継承しながら広く普及することを目的とした、第21回生保内節全国大会が市民会館で開催されました。大会には、全国各地の民謡を愛する人が、一般の部に191人、年少者の部に19人がエントリーし、日ごろ鍛えた喉と節まわしを競い合いました。

22日の開会式では、前年度の第20回記念大会優勝者の深瀬康子さんから優勝旗が返還され、レプリカが手渡されました。

引き続き、一般の部の予選が行われ、準決勝進出60人を賭け、自分の出番まで階段や廊下、ロビーなどで発声練習やイメージトレーニングをして予選に臨んでいました。

23日には、中学生以下の年少者の部決勝と前日の予選を通過した60人による一般の部準決勝が行われ、年少者の部には市内から斉藤彩花さんと小松博美さんが出場しました。審査の結果、元唄を唄った山上衛さん（秋田市）が、年少者の部の最優秀賞に、小松博美さんが優秀賞に選ばれました。

一般の部決勝は、準決勝から10人が進出。市内からは、富岡沙樹さんと近藤みつ子さんが決勝に出場し、最優秀賞には高橋歩惟さん（大館市）が選ばれ、第21代のチャンピオンに輝きました。



優勝旗を手に生保内節を披露する高橋歩惟さん



年少者の部最優秀賞に輝いた山上衛さん

当日の成績	敬称略			
【年少者の部】	最優秀賞	山	上	衛（秋田市）
	優秀賞	倉	田	珠衣（大仙市）
		小	松	博美（仙北市）
		高	橋	大成（由利本荘市）
【一般の部】	最優秀賞	高	橋	歩惟（大館市）
	優秀賞	浅	野	江里子（秋田市）
		浅	野	晴香（秋田市）
		佐	藤	良雄（にかほ市）
		三	浦	九十九（由利本荘市）
	敢闘賞	富	岡	沙樹（仙北市）
		青	木	強（仙台市）
		浅	野	恵子（秋田市）
		近	藤	みつ子（仙北市）
		大	川	あけみ（秋田市）